

JADA

全国自動ドア協会

120

Jan. 2024

JADA 会報

Japan Automatic Door Association

特集

業界誌記者懇談会



世界遺産：(兵庫県姫路市) 姫路城

JADA

Cover Story

JAN 2024 NO.120



しらさぎ 白鷺城の愛称で親しまれる城郭建築の傑作

姫路城は、兵庫県姫路市にある日本の代表的な天守閣。緻密な木造構造や石垣、堀、櫓などが見事に調和した城郭建築の傑作。江戸時代初期に建てられた天守や櫓などが現存し、国宝や重要文化財に指定されている。

白漆喰塗りの外壁は耐久性と美しさを兼ね備え、「白鷺城」の愛称でも親しまれている。1993年12月、日本初の世界遺産に認定された。

画：杉井洋一

Contents

新年を迎えるにあたり	3
賀詞交歓会	4
特集●2023年(令和5年)度 業界誌記者懇談会	
自動ドア生産台数の推移	5
事業活動報告	6
質疑応答	7
HOTLINE ●各委員会からのニュース	8
物語の中の自動ドア	9
2023年度 全国自動ドア協会研修会レポート	10
海外通信(イギリスの自動ドア)	12
JADA PROFILE ●ナブコシステム株式会社	13
令和5年度 職業能力開発関係表彰式	13
賛助会員のページ ●藤原工業株式会社	14
事務局から	15
私の故郷	16
2023年度スケジュール	16

2024年 新年を迎えるにあたり ～今年は創立50周年～

全国自動ドア協会会長 内田 正則

皆様、既にご承知のように、先日能登半島で大きな地震が、そして羽田空港で悲痛な事故が起きました。亡くなられた方々に哀悼の意を表し、ご遺族と被災された方々に心からお悔やみのお言葉を申し上げたいとともに、被災された方々へのお見舞いを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行により、約3年半に及んだコロナ禍からようやく解放され、「日常」が回復してまいりました。しかし、世界情勢としては原材料高・エネルギー高騰が続き、未だ終息を見ないウクライナ問題に加え、イスラエル・パレスチナ紛争という新たな問題が勃発いたしました。

そして、日本国内も5月以降は訪日外国人を含め人流が戻りつつあり、経済活動の正常化が期待されましたが、大きな社会問題となる程のエネルギー・物価高や過度

な円安が、企業だけでなく我々の日常生活にも影響を与え続けました。また、夏場の災害級ともいえる異常気象に中古車販売大手、芸能事務所等の企業不祥事や政治資金を巡る問題が連日報道されたことも記憶に新しいところであります。

自動ドアを取り巻く事業環境も例外ではなく、原材料・輸送費・人件費の高騰に加え、今年は所謂「建設2024年問題」が立ち塞がる場所となり、時間外労働に罰則付で上限が設けられ、現状の人出不足に更に追い打ちがかかることとなります。

しかしながら、一極集中傾向ではありますが、首都圏を中心とした再開発案件や大阪万博関連を主とした様々な需要、中小案件においても無人化・衛生面・セキュリティ強化等による自動ドアの多台数採用が増加していることは明らかな話題であります。

当協会では「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセットー安全性」の制定以来、「JIS 準拠：安全ガイドブック」の発行や「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」を通して、施主、管理会社、関連業界、官公庁の皆様幅広く自動ドアセットとしての安全性確保に対する理解と普及に努めてまいりました。そして、JIS A 4722の改正に伴い、昨年6月には「バリアフリートイレ用安全ガイドブック」を作成し、頒布を開始いたしました。また、現行の運用マニ

アル(安全編)を見直し、会員向けに自動ドア供給者としての実務作業上の安全性向上・維持に役立つことを目的として、新たに「安全対策運用マニュアル歩行者用自動ドアセット」の作成や4年振りに実務知識研修会を開催いたしました。需要状況もお陰様でコロナ前に戻り、自動ドア生産台数は約154千台(国内146千台)と回復いたしております。

当協会は本年2024年4月に創立50周年＝半世紀の Anniversary Year を迎えます。この記念すべき年に、改めて自動ドアに対する活動を見つめ直し、今後更に自動ドアの安全性、利便性の向上に取り組み、業界の継続的な発展に寄与できるよう活動し、協会及び会員会社様の地位向上に向け努力してまいり所存ですので、何卒、倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年の干支は十干十二支でいうきのえたつ甲辰です。辰年は「春の日差しが、あまねく成長を助く年」といわれ、株価が上がり景気が良くなる年、大きな変化が起きる年のようなので。本年がアフターコロナの名のもと、経済状況が好転し、辰＝龍が天高く上る如く飛躍の年となることを期待します。

最後になりますが、本年が関係各位の益々のご健勝と更なるご発展の年となることを祈念し、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



2024年

賀詞交歓会

2024年1月15日、東京・アジュール竹芝において全国自動ドア協会の新春賀詞交歓会が開催されました。ご来賓及び協会関係者90名以上が参加し、懇親を図りました。

内田会長の挨拶の冒頭では、能登半島地震と羽田空港での事故に触れられ「亡くなられた方々に哀悼の意を表し、ご遺族と被災された方々に心からお見舞い申し上げます」と述べられました。被災された皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈りしております。



内田会長



高橋副会長



古野副会長



恒例の「福当て」が行われ、会場を沸かせました。



会長賞

ナブコシステム(株) 堀籠氏



副会長賞

BEA ジャパン(株) 松岡氏

閉宴のご挨拶(抜粋) 古野副会長

JADA が今後も健全に発展していくためには、会員がバランスよく力を合わせる事が大切です。例えば、消費者庁の事故調査報告書。これは本当に大変な仕事だと感じましたが、事務局や安全委員会の努力によって、安全に対するユーザーの関心が高まり、逆にプラスとして収まりました。しかし、それは1社だけでできるものではありません。協会だからこそ可能だったわけです。

協会の「協」は訓読みで協う(かなう)と読みます。「叶う」と同音同義です。我々 JADA の「目指すべき目標が協力し合うことによって叶う」、これを今年のスローガンにしたいと思っています。



賛助会員による説明会

賀詞交歓会と同日に、賛助会員による「説明会」も開催されました。

各社毎に動画やスライド資料を使って、新しいセンサーや付加価値をもった新製品の説明が行われました。今年は「手かざし用センサー」や「非接触スイッチ」など、感染症対策に関する製品が関心を集めていました。



昨年十一月二十九日、東京のビジョンセンター浜松町において、業界誌記者懇談会が行われました。働き方改革、海外市場の動向、JISの市場認知など、自動ドアを取り巻く業界情勢について活発な意見交換がなされました。

全国自動ドア協会の現況（2023年度上半期を終えて）

1 自動ドアの需要動向

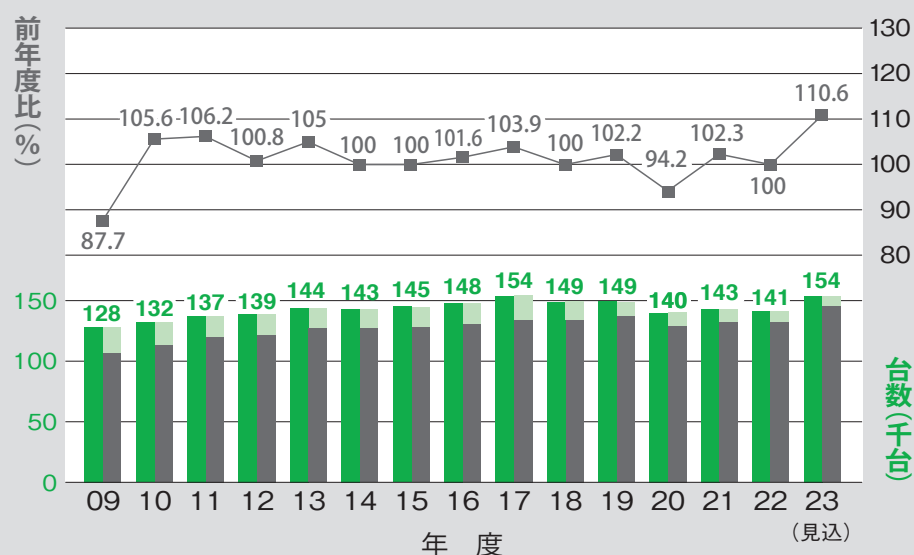
2023年度上半期の自動ドア生産台数の実績と通期見込み台数

- ・国内向台数 上半期実績 65千台（前年度比97.0%）、通期 146千台/年（見込）
- ・海外向台数 上半期実績 3千台（前年度比75.4%）、通期 8千台/年（見込）
- ・総生産台数 上半期実績 68千台（前年度比95.6%）、通期 154千台/年（見込）

2023年度生産台数見通しを中心とした業界情勢

2023年度年間生産台数見通しは、国内向け146千台（前年度比110.6%）、海外向け8千台（前年度比88.9%）、総生産台数154千台（前年度比109.2%）といたしました。国内市場向けは、半導体不足による電装部品の供給不安は概ね解消し、首都圏での大型再開発案件の竣工が増え、1現場あたりの多台数化が多く見られます。また、メーカーの製造国内回帰により、工場案件が増え、衛生面・セキュリティ強化等による手動から自動ドア化の需要も引き続き堅調です。一方、海外市場では回復の予兆がみえず、2017年以降減少が続いています。

2009年度から2023年度までの生産台数推移



■ 生産台数 ■ 国内向け ■ 海外向け —■— 国内前年度比

2023年度 予想・見込	総生産	前年度比	国内向け	前年度比	海外向け	前年度比
5月予想 ¹⁾	153千台	108.5%	141千台	106.8%	12千台	133.3%
10月見込 ²⁾	154千台	109.2%	146千台	110.6%	8千台	88.9%

1)：2023年度初め(5月)の予想値

2)：半期経過後(10月)の見直し値

※年度は4月～3月

事業活動報告



内田会長

2 自動ドア施工技能士の現状

厚生労働省認定国家資格「自動ドア施工技能士」の2022年度技能検定では、244名が受検し168名が合格という結果になり、自動ドア施工技能士の全国累計数は1級3,985名、2級4,007名、合計7,992名となりました。本年度の検定に臨む受検者の総数は259名となり、検定の結果は2024年の春に発表されます。

●自動ドア施工技能検定受検者数と合格者数

年 度	1 級技能士	2 級技能士	合 計
2022 年度 検定受検者	139 人	108 人	247 人 ^注
2022 年度 検定合格者	95 人	73 人	168 人
2023 年度 受検申請者	134 人	125 人	259 人

注：新型コロナウイルス感染拡大により3名が受検自粛

自動ドアの設置現場でその品質と性能をしっかりと仕上げることでできる技能士は、その技能を駆使して、自動ドアの安全性向上、快適性能の維持に貢献、施主・建物管理者の皆様の満足度を高め、自動ドアを利用する通行者の皆様の信頼を頂く上で大変重要な役割を担っています。

3 技術基準等の改定活動

JIS A 4722「歩行者用自動ドアセットー安全性」の改正内容を反映させて、「自動ドアの知識」の改訂作業を進めています。また、自動ドアの性能規格制定に向けて、性能項目の検討を行っています。

4 自動ドアの安全に関する取り組み

JIS A 4722「歩行者用自動ドアセットー安全性」の改正にともない、バリアフリートイレ用の安全ガイドブックを6月に作成完了し、頒布を開始しました。また、現行の運用マニュアル(安全編)を見直し、会員向けに自動ドア供給者としての実務作業上の安全性向上・維持に役立つことを目的として、新たに安全対策運用マニュアル歩行者用自動ドアセットの作成作業をすすめています。

5 自動回転ドアの現況

2022年10月から2023年9月末までの1年間に設置された回転ドアの数量調査を実施しましたが、大型4台(改修1台、更新3台)、小型2台(新規)でした。

▶8頁に詳細記事

6 その他

実務知識研修会

9月28日に全国から約110名を超える多くの方に参加していただき、アジュール竹芝にて「実務知識研修会」を開催しました。全国自動ドア協会会員各社の経営者、営業、技術、保守、サービスなどの各職種の方々が参加され、以下のテーマについて学びました。

第1部 「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセットー安全性」の改正について

講師：角山 浩司 氏(ナブテスコ株式会社)
技術基準委員会アドバイザー

第2部 「笑いはこころの栄養剤」について

講師：三遊亭 歌扇 氏(落語家)

第1部、第2部ともに、我々にとって関心の高い話題について、各講師の方々より講演をお聞きすることができました。



理事の方々

質疑

Q & A

応答

事業活動報告終了後、質疑応答が行われました。記者の方々の質問に対して、会長、副会長をはじめ、各委員長が回答しました。

Q JIS A 4722「歩行者用自動ドアセッ トー安全性」が施行されて5年くらい経ちますが、市場の認知はどのくらい進んでいますか？ また、JIS の成果と言いますか、JIS によってどのくらい事故が減少したと捉えていますか？



ガラス新聞社

A 自動ドアの JIS は少しずつ認知され、台数も増えてきたと協会としては捉えています。ただ、世の中のすべての自動ドアが全部 JIS へ置き換わったわけではないので、まだまだこれからだと感じています。



小野安全委員長

成果としては、正確には把握できておりません。この数年で事故件数はかなり減っていますが、それは JIS の成果だけではなく、コロナ禍で外出が自粛された影響だと分析しています。2023年は人流が増えてきて、コロナ以前ほどではないですけれども、事故件数も若干増えてきたという状況です。

また、近年はスマートフォンを見ながら通行して自動ドアにぶつかったとか、マンションの集合玄関でお子様が手で扉を触っていることに気がつかず、解錠してドアに引き込まれたとか、JIS を守ることだけでは防止できない事故の比率が増えてきたなという印象です。

Q 実際には、JIS で想定されている事例以外の原因で事故が起きているのですね。そのような事故の対策というのは、今後考えられていくのでしょうか？



ガラス新聞社

A もちろん、考えていきます。人の行動を変えるというのは、なかなか難しいのですが、例えば、マンションでは注意喚起を促す啓蒙活動を行っていきます。具体的には、「集合玄関機での事故防止対策ステッカー」を配布しているところと協会全体で進めているところです。



熱心に取材される記者の方々

Q 働き方改革法案による“2024年問題”でコストが上がると予想されていますが、協会として2024年の自動ドア業界に与える影響は、どのようにお考えでしょうか？ 日刊建設工業新聞社



A やはり法で定められた限り、できる施工が限られますので、着工が遅れたり、工期が延びたりというやむを得ない状況となると思われます。当協会としてもその点をご理解いただけるよう、申出させていただくことを考えております。



内田会長

自動ドア業界を維持するためには、限られた時間に対して我々業界から先を読み、早めに承認等をいただく打合せを進めるべきと思っています。

Q 国内向けの生産台数が2006年度以来の高水準とのことですが、当時は何台でしたか？ 日刊建設通信新聞社



A 2006年度の国内向けの生産台数は、142,297台でした。2023年度の国内向け生産台数の見通しは146,000台なので、以前142,000台を超えた2006年まで遡るという意味ですね。ちなみに過去最高は1991年度の158,000台です。これは、いわゆるバブル景気の頃です。



内田会長



事務局
より

協会創立50周年記念大会のお知らせ

全国自動ドア協会の創立50周年を迎えるにあたり、下記の要領で記念式典、記念講演会、記念祝賀会を行います。会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

- 日 時：2024年4月19日(金) 受付14時より
- 式 典：14時30分より 4階ルグラン
- 講 演：15時45分より 4階ルグラン(講演者：伊藤 聡子氏)
- 祝賀会：17時20分より 5階ウィラード
- 場 所：ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ
(東京都港区海岸1-16-2)
- 電 話：0570-000222(ナビダイヤル)

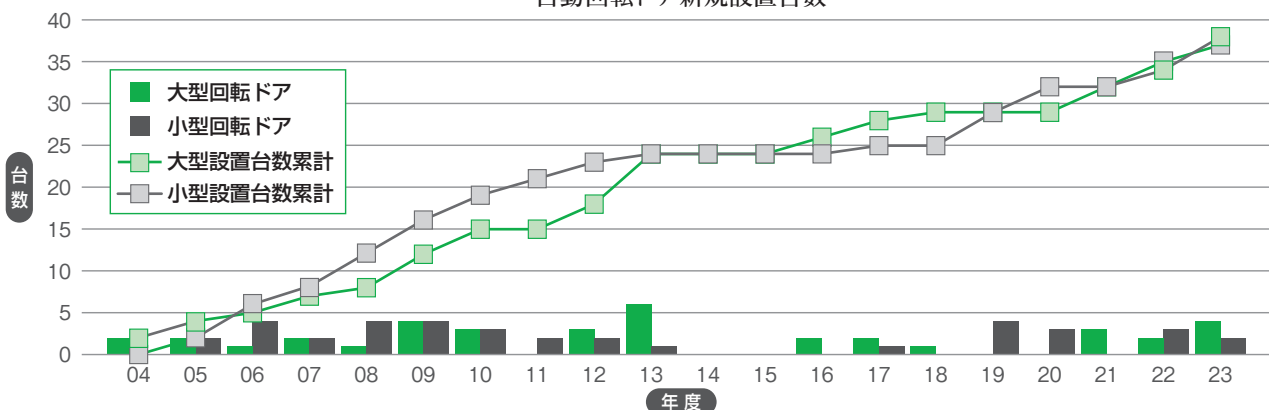
企画委員会
より

自動回転ドアの現況

2022年10月から2023年9月末までの1年間に設置された回転ドアの数量調査を実施しましたが、大型4台(改修1台、更新3台)、小型2台(新規)でした。

また、2004年以降調査を継続してきました「大型自動回転ドアの運行状況調査」を実施し、その結果として、調査対象の469台中、使用中は139台(35台減)、回転休止[スライド式自動ドアとして使用]は21台(3台増)、使用停止は39台(8台増)、撤去済みは270台(24台増)となり、この2年間で更に多くの回転ドアが使用停止、撤去されました。

自動回転ドア新規設置台数



●大型自動回転ドアの運行状況

年度	04	05	06	07	08	09	10	11	13	15	17	19	21	23
使用中	133	228	243	238	235	241	239	234	231	213	205	194	174	139
回転休止	47	37	43	38	40	33	31	31	30	26	22	18	18	21
使用停止	239	91	29	21	21	21	22	24	24	22	21	28	30	39
撤去済	50	112	154	172	173	174	177	180	184	208	221	229	247	270
計	469	468*	469	469	469	469	469	469	469	469	469	469	469	469

※不明1台あり 注：2012年・2014年・2016年・2018年・2020年・2022年度は未調査

使用中：回転運転で使用 回転休止：回転運転による使用を休止し、スライドなどその他の方式で使用 使用停止：当該ドアの通行を禁止 撤去済：当該ドアを撤去

物語の中の自動ドア

第13回

ちるとしふと 2018年、短歌
千原こはぎ

※「ちるとしふと (tilt-shift)」とはカメラレンズの一種で、
実際の写真をミニチュア風に変換させる画像加工の名称。

●著者プロフィール：千原こはぎ

大阪生まれ。イラストレーター・デザイナー。中学生の頃、祖母の影響で短歌と出会う。2010年からTwitter上での作歌を開始。「短歌なzine うたつかい」編集部、「鳥歌会」主催、合同短歌集などの企画・制作や、短歌朗読など、さまざまな短歌関連の活動を行っている。「ちるとしふと」は、書肆侃侃房よりamazonほか全国書店にて発売中。



立つ自動ドア

深夜ひとりで

確かめたくなくて

存在をときどき



<http://kohagiuta.com>
Twitter (X) : @kohagi_tw
短歌とイラスト © 千原こはぎ

●著者インタビュー●

——歌の中で“自動ドア”を使おうと思ったきっかけがあれば、教えてください。

わたしは昔、結構頻繁に、自動ドアに感知されない人間だったんです(笑)。自動ドアに感知されないと、ほんとうに自分がそこに存在しているのかなって不思議な気持ちになる気がして。とくに真夜中、いろいろなことを考えたり迷ったり不安になったりしたとき、自動ドアに存在を認めてもらおうと少し心強いかも、と思ってあの短歌ができました。

——Twitter (現 X) 上で作歌を開始した経緯についてお話しいただけますか？

Twitter はツイートがすぐタイムラインに流れて消えていくので、より「人の目」を気にせず好きに短歌を作ることができる気がして、ぼつぼつと、ほんとうにつぶやきのように短歌を作っては流して……ということをしていました。最初は誰にも知られず短歌を作る場所だったのですが、そのうち作品を見てもらえるようになり、一緒に楽しむ仲間ができて、みんなで作品集を作ったりタイムライン上のイベントや歌会などを開催したり、リアル

でもつながりが広がっていき、気づけば十年以上活動を続けています。

——今後の創作活動や講座活動について教えてください。

現在、隔月刊で「うたそら」という短歌誌を発行し、毎月号たくさんの方にご参加いただいています。また、他にも季節ごとにさまざまな短歌アンソロジーを企画・制作しています。歌会や歌集を読む会なども開催しておりますので、今後もそういった短歌活動を続けていく予定です。

——これから短歌を始めようと思っている人にアドバイスやメッセージがあればお願いします。

短歌は、紙とペン、もしくはスマートフォンなどがあればすぐにでも作りはじめることができる、とても手軽な創作活動です。日々のなかでの小さなできごとや心を揺さぶられたこと、またどうしても吐き出したい想いなど、どんなものでも57577のリズムに乗せて、あなただけのすてきな作品をたくさん生み出してください。いつか、どこかの歌会や短歌誌でお目にかかれまように！

『JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット—安全性』
改正についての勉強会

開催日 2023年9月28日(木) 会場 アジュール竹芝 主催 ●全国自動ドア協会 企画委員会

JADA 企画委員会では、自動ドアに関連する知識習得のみならず、さまざまな分野に視野を広げることにより顧客サービスの質の向上と、需要拡大に貢献するべく、テーマを選んで研修会を企画・開催しています。新型コロナウイルス感染拡大により過去3年中止を余儀なくされましたが、本年度は4年振りに開催(19回目)致しました。

講師 ●角山 浩司氏(技術基準委員会アドバイザー [ナブテスコ株式会社])

改正の背景とポイント

2017年3月に「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット—安全性」が制定されてから5年が経過し、法律で見直しの方法や改正、または廃止が規定されています。2022年9月の改正の背景について説明します。

まず、最初の理由は、適用範囲に含まれていなかった「多機能トイレ用自動ドア」を追加し、要求事項を明確にするためです。二番目は、消費者安全調査委員会の報告書及び意見を受けて、対策を検討する必要があったためです。三番目の理由は、施工現場の実態を考慮し、施工者が現場で簡単かつ確実に検査できる方法を追加することです。四番目は、製品開発と現場設計における運用・解釈の誤解を防ぎ、解りやすくするための見直しです。

この改正により、社会的ニーズである「多機能トイレ用自動ドア」の安全性の向上、安全対策や施工現場での簡易検査の普及による事故の低減、新技術・新製品の開発・製造の促進などが期待されています。



バリアフリートイレ用自動ドアについて

「バリアフリートイレ用自動ドア」は「車椅子使用者用便房用自動ドアセット」と「一般便房用自動ドアセット」に分かれ、操作スイッチの配置や高さ、距離に関する要求事項、検知保護装置など、それぞれの要件が詳細に規定されました。これらの規定は、特に車椅子使用者や高齢者の安全性とアクセシビリティを向上させる「バリアフリー設計」に焦点を当てています。

“車椅子使用者用便房”は、広いスペースで車椅子使用者が利用しやすい設備を提供します。一方、“一般便房”には、オストメイト用設備、乳幼児用設備を備えたトイレも含まれます。

なぜ、多機能便房から車椅子使用者用便房へ名称が変更されたのかについて説明します。多機能便房は、機能が集中しており、その中には複数の利用者が含まれていました。これにより、本来必要とされていた車椅子使用者が利用困難な状況が生じていました。そのため、令和2年の「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」の改正により、多機能便房を車椅子使用者のための専用設備とし、その他の機能を備えた便房を個別に設置することが推奨されました。これに伴い、呼び方が「多機能便房」から「車椅子使用者用便房」に変更され、一般便房の要件も設けられました。

車椅子使用者用便房のドアを手動で開くのに要する力が、これまでの基準では、高齢者や障害者にとって過大ではないかとの意見があり、分科会で検討しました。

ドアの力の制限について、車椅子使用者用便房では、手動操作時に40Nを超えると車椅子が回ってしまう可能性があるため、40N以下であることが望ましく、最大でも50Nでなければならないと規定されました。

有効開口幅について、車椅子使用者用便房では900mm以上要求されています。この要求はバリアフリー設計の指針に基づいています。なお、大阪・関西万博のユニバーサルデザインガイドラインでは、950~1000mm以上とすることが望ましいとされています。

改正の背景：4つのポイント

1

2017年版では適用範囲外だった「**多機能トイレ用自動ドア**」についても適用範囲に追加し、要求事項を規定

2

「消費者安全調査委員会 事故等原因調査報告書」を受けて、**対策を検討**

3

施工現場の実態を考慮して、**検査をより簡単・確実**に行える方法を追加

4

製品開発、現場設計における**運用・解釈の誤解の回避**

操作スイッチの配置について、特に車椅子使用者用便房では、高さや距離が規定されており、使用者のニーズに合った配置が求められています。

自動ドアの事故への対応

最初に「ぶつかる事故」についてお話しします。これは、自動ドアが完全に開かないまま通り抜けようとする、またはドアが閉じる際に戸先にぶつかるという事故です。また高齢者では、センサー範囲が不十分で事故が起きています。そのため、センサーの範囲を確保することがリスクを低減させる鍵とされており、確保が難しい場合には、追加の安全対策を講じることが重要です。

次に「引き込まれる事故」についてです。この事故は、子どもがマンションの入口で自動ドアが開かないと思って近づいていると、急にドアが開いて子どもの指が挟まれるというものです。今回の改正では、特に引き戸の場合、子どもの指の安全性を確保するための要件(安全距離の変更や危険箇所の隙間を埋めるなど)を追加しました。

具体的な安全設計の考察についてです。消費者庁から「自動ドアのガラスの隙間や方立ての角、また框とFIX ガラスの隙間が8mm未満だと子供の指が巻き込まれる危険性が高い」との意見が寄せられました。それに対する検討結果をご紹介します。

まず、ドアの基本的な機能として、全閉状態では空気の流れを防ぐ必要があります。そのため、この隙間(下図)を25mm以上に広げることは難しいという結論に至りました。

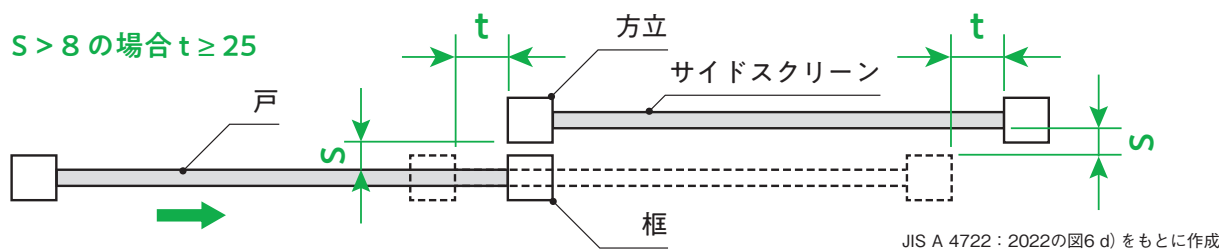


しかし、市場で一般的なドアは、框組み構造を採用しており、ガラスと框との間に段差が生じやすいため、この隙間を8mm以下とするのが難しい場合が多いのが現状です。このため、框と方立との隙間を25mm以上確保し、指が引き込まれた場合でも、押しつぶしを回避するようにしています(下図)。

ケガを軽減するために角を丸くするアイデアも検討されましたが、むしろ子どもの指が隙間に引き込まれやすくなる可能性が考えられました。また、サッシ製造上の制約から実現が難しいという結論に至りました。

これらの検討結果に則り、手指用緩衝材を使用して指の受傷を防ぐ方策を示しました。手指用緩衝材の寸法や硬度については、今後の改正で検討すべき課題となっています。今回の改正では、手指用緩衝材を設計・設置する上で留意すべき点を、参考情報として記載するに留めました。

■手指のせん断及び引込みの危険箇所における、本質的安全設計方策の検討



- ・ドアとしての機能(全閉状態では開口部を塞ぐ)から、隙間(S)を確保(25 mm 以上)する方策は不可
→ 隙間(S)を制限(8 mm 以下)する方策が基本
- ・框組構造(四方の枠にガラスをはめ込んだ構造)のものが最も多い。
→ 框及び方立の面とガラス面とに段差があることが多く、隙間(S)が、制限(8 mm 以下)できないことも多い。
→ JIS A 4722 では、隙間を制限(8 mm 以下)できない場合の方策として、“S>8 の場合 t≥25”と規定



講師 ●
さんゆうてい か せん
三遊亭 歌扇氏
(落語家)

第2部 『笑いはこちらの栄養剤』

第2部では落語家の三遊亭歌扇氏による講演『笑いはこちらの栄養剤』が行われ、その巧みな話術で会場を大いに沸かせました。

ロンドンの自動ドア



自動ドアは、ロンドンの街においても欠かせない存在です。店舗、オフィスビル、郵便局、病院、駅など、さまざまな場所で見られます。これらの施設では、利便性やバリアフリーへの配慮から自動ドアが設置され、特に身体的な制限がある人々にとって重要な設備となっています。

ロンドンの自動ドアの特徴は、日本では珍しい「開き戸式」の自動ドアが多いことです（オフィスビルや高速道路のサービスエリアなどには、日本と同じように「引き戸式」の自動ドアが設置されています）。

ロンドンの自動ドアに「開き戸式」が多い理由には、ヨーロッパの建築文化や歴史的背景が関係しています。イギリスに限らずヨーロッパでは、まだ使える建物を取り壊してまで、現代的な建物に建て替えるという発想がほとんどありません。特に歴史的な地区では、建物の保存と保護が重視されており、改装や取り壊しが制限されています。

いわゆる建築基準法は、日本よりもずっと細かく、使用できる建築資材にも規制があります。建て替える場合は、自治体による建築指導のみならず、公共事業省や労働省、文化庁の立入り検査まで受けなくてはなりません。



古い建物と調和した開き戸式の自動ドア



郵便局の自動ドア（開き戸式）

そのため、ロンドンには歴史のある古い建物が数多く残っています。伝統的な英国建築は開き戸なので、既存のスペースにスライド式の自動ドアを設置するのは難しく、必然的に「開き戸式」が多くなりました。

これは、伝統的な建築設計や歴史的建造物の外観に合わせるためでもあります。ロンドンの自動ドアは、建物の歴史的価値を損なうことなく、かつ利便性を提供しているのです。



オブテックスさんのセンサーがロンドンの街でも活躍！



左右両方の扉にセンサーが設置されている



一見、自動ドアとは分からない書店の入口

ロンドンは、中世から近現代にかけて、長い歴史を経て発展してきた都市です。その過程で様々な建築様式が共存しており、その多様性がロンドンという街の魅力のひとつとなっています。

自 NABCO 動

NABCO ナブコシステム株式会社

弊社は、「ナブコ自動ドア」の東日本地区販売代理店として、2023年には創立66周年を迎えることができました。

2023年は、自動ドアのムダ開き削減と快適な通行性・バリアフリーを実現する『NATRUS⁺e W』を発売。赤外線方式と画像方式の2つのセンサーを組み合わせた動線判断機能を搭載。ドアを通行する人のみに開閉し、不要な開閉を防ぐことで空調効率を高め、電力消費を抑制します。また、車いすや台車を利用している場合も、適切なタイミングでドアが開くため、ストレスのない通行が可能となり、建物のバリアフリー化にも寄与します。

さらに、自動ドアと自動ドア周辺データをネットワークで収集して活用するNABCOの新しい技術「AD-LINK」を開発。そのAD-LINKを活用した新しい保守サービス「自動ドア見まもり保守サービス」を開始しました。自動ドアの状態を「見える化」することで、スマートかつ安全・安心な建物の運用・管理に貢献します。

今後も快適な暮らしを実現するため、通行者の悩みを解消する情報やお役立ち情報の発信を行なっていきます。

〒100-6032 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング32階

URL : <http://www.nabcosystem.co.jp/>

NATRUS⁺e W

ナトラス プラスイー ダブル

画像センサー

赤外線
センサー

画 像
センサー



AD-LINK エーディリンク

自動ドア見まもり 保守サービス



会社概要

代 表 者	代表取締役社長 内田 正則
設 立	1957年11月7日
事業内容	自動ドア装置・ステンレス建具・高速シャッタードア・セキュリティ設備・自動門扉の販売、設計、施工、メンテナンス

令和5年度

職業能力開発関係表彰式

2023年11月30日、明治記念館（東京都港区）において「令和5年度 職業能力開発関係表彰式」が行われました。表彰式には内田正則会長が出席し、厚生労働大臣 武見敬三氏より技能検定実施に関する長年の功績が称えられ、表彰状が授与されました。

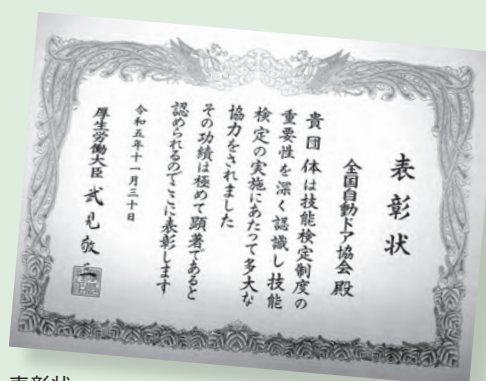
「職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」は、認定職業訓練や技能検定の実施、技能振興の推進に関して、

長年にわたって多大な貢献があり、他の模範になる事業所・団体や、顕著な功績があった功労者を表彰する制度です。

全国自動ドア協会は、表彰を通じて、技能士の技能水準の向上や業界の地位向上に役立てるとともに、次の世代へ優れた技能を承継していくべく、これからも自動ドア施工技能士の育成に努めて参ります。



内田会長



表彰状

弊社製品は、省エネルギーと低コストを目指し開発された新時代にふさわしい高性能ドアです。
スリムな縦枠がシャープに光る洗練されたデザインはそのままに、気密性が建物内空調のエネルギーロスを大幅に軽減します。しかも、設計開発、生産効率の徹底した追求によって低コスト化も実現しました。

美と空間の探求



Pure Great Door
ピュアグレートドア（大型ドア）
国内最大サイズのドア



Pure Light Door
ピュアライトドア
意匠性と気密性を兼ねた高性能ドア



Pure Light-AL Door
ピュアライトーAL ドア
軽量・コスト低減を実現



Fuji Light Door
フジライトドア
極限までのガラスフォルムを演出

会社概要

社 名	藤原工業株式会社	
本 社 ・ 工 場	〒532-0031 大阪市淀川区加島3-14-24	TEL.06-6302-5511 FAX.06-6308-4744
東 京 営 業 所	〒341-0034 埼玉県三郷市新和3-177	TEL.048-949-2231 FAX.048-949-2232
創 業	昭和2年1月6日	
設 立	昭和26年1月22日	
事 業 内 容	強化ガラス・強化ガラスドア・合わせガラスの加工製造及び販売、開口部等の工事	
営 業 品 目	平面強化ガラス、曲面強化ガラス、化学強化ガラス、強化ガラスドア、強化ガラスアールドア 特定防火設備（防火戸）、平面合わせガラス、曲面合わせガラス、装飾用合わせガラス、ポリカ合わせガラス 熱線入り合わせガラス、曲げガラス、各種ガラス工事、自動車用安全ガラス、鉄道車両用安全ガラス ステンレスドア	
JIS表示許可工場	合わせガラス R3205 強化ガラス R3206 自動車用安全ガラス R3211 鉄道車両用安全ガラス R3213	
そ の 他	米国運輸局登録番号 DOT69 国交生特定防火設備許可番号 EA-0006 EA-9265 EA-9267 工作機械用欧州安全規格 EN12417 EN12415/C3 自動車用安全ガラス欧州認証 ECE-R43	

FUJIWARA

FUJIWARA SAFETY GLASS

K O G Y O

C O . , L T D

事務局から

● 被表彰者

2023年11月、永年にわたり技能検定の推進に尽力されたことに対して、福岡県職業能力開発協会、大阪府職業能力開発協会、東京都知事、大阪府知事からそれぞれ感謝状が贈られました。
また、2022年度(令和4年度)の技能検定試験合格者の中で、特に優秀な成績をおさめた5名の方が東京都職業能力開発協会、大阪府職業能力開発協会、香川県職業能力開発協会より表彰されました。

功労者：永年にわたる技能検定の推進のご尽力に対する感謝



オリエント産業(株)
池田 雅俊
福岡県職業能力開発協会



ナブコシステム(株)
山田 太一
東京都知事、
大阪府職業能力開発協会



ナブコシステム(株)
松丸 直規
東京都知事



ナブコシステム(株)
松橋 透
東京都知事



佐藤電設工業(株)
藤橋 高志
東京都知事、
大阪府職業能力開発協会



扶桑電機工業(株)
古賀 健一郎
東京都知事



ハシダ技研工業(株)
美麻 泰則
大阪府職業能力開発協会



寺岡オートドア(株)
小池 誠
大阪府職業能力開発協会



扶桑電機工業(株)
古川 修子
大阪府知事

成績優秀者：令和4年度技能検定試験合格者の中で特に優秀な成績であったことに対する表彰



扶桑電機工業(株)
遠藤 卓也
1級技能士



昭和建産(株)
高橋 雄二
1級技能士



三共空調(株)
藪中 康次
2級技能士



(株)グッドジョブ
佐伯 潤
2級技能士



ナブコドア(株)
本田 耕平
1級技能士

● 新職員のご紹介



田中 隆行 事務局長補佐〈略歴〉

1968年7月生まれ
1992年4月 株式会社ナブコ(現ナブテスコ株式会社)入社
2010年4月 ナブテスコ株式会社 ナブコカンパニー 神戸営業グループリーダー
2011年3月 NABCO ENTRANCE INC. (米国) 出向
2015年2月 ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー 国内営業グループ 参事
2020年3月 ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー 生産計画課 課長
2024年1月 全国自動ドア協会 事務局長補佐 就任

編集後記



1月1日に発生した令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
そして、一刻も早い復旧・復興を衷心より祈念いたします。

世界で起きる地震の1割は日本で発生していると言われており、改めて自然災害の身近な脅威を痛感し、防災の必要性を認識しました。

本年1月より JADA 事務局に新しい仲間が加わりましたので、一層充実した協会運営に努めてまいります。本年もよろしくお願いいたします。
(N.S.)



私の故郷、奈良は古都の文化と自然が調和した美しい街です。大仏や奈良公園は日本全国、世界中から人々が訪れる観光名所であり、私たち地元の子供たちにとって

は普段から冒険や遊びの場でもありました。春には桜、秋には紅葉、冬には雪景色など、四季折々の美しい自然の中で駆けずりまわったことを思い出します。

この奈良公園の一部は春日大社の境内でもあります。その春日大社の祭神、タケミカヅチノミコト武甕槌命は鹿島神宮(茨城県)からしんろく神鹿に乗ってやってきたという伝説があります。そのため奈良公園にいる鹿は古くより「神の使い」とされており、今でも天然記念物として大切に保護されています。

関西へお越しの際は、古都ならではの歴史と神秘を感じることが出来る奈良へ是非お立ち寄りください。



東大寺 大仏殿



初夏の浮見堂

全国自動ドア協会 2023年度スケジュール (2023年4月～2024年3月)

	2023 年									2024 年		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
総会等			14日 定期総会			28日 研修会				15日 賀詞交歓会		
幹部会		11日			22日			8日			2日	
理事会		22日				14日		29日			15日	
企画委員会	26日			19日			25日			15日		
安全委員会	24日			27日			25日			22日		
広報委員会	27日			6日			25日		20日			
総務部会 合同委員会							25日					
技術部会		18・19日										
技術基準委員会		18日		25日	24日	11日	17日	16日	15日			
技能開発委員会		18日			25日							29日
技能開発作業部会				6日				9日	1・8日			1日

JADA

全国自動ドア協会

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
TEL 03-3436-3287 FAX 03-5473-9576
Eメール: jadainfo@pastel.ocn.ne.jp
URL: http://jada-info.jp

全国自動ドア協会 (Japan Automatic Door Association) は、1974 年 4 月に発足。自動ドアの製造およびその販売会社で構成され、社会に快適で安全な自動ドアを提供することを目的とした民間の団体です。

発行責任者: 広報委員長 吉田 毅
編集・制作: (株)グループ・ティー
発行 月: 令和 6 年 1 月

本誌の内容は、JADA の HP でも閲覧いただけます
(発行日より約 2 年間)

